

お仏壇には“生きる秘訣”がいっぱい

3号

2023年2月発行

仏教大好き職人がお届けする

まごころ3南無阿弥陀仏

3月は年度末という節目ですね。テレビ番組も「見直し」で改編したり、人事異動もある季節。そこで、今回は「見直し」をテーマにお話します。音羽屋では仏教の教えで「生きるヒント」をご先祖さまからは「生きるチカラ」を、お仏壇を通してイキイキとした生き方をお届けします！



自分の見直しが苦手な代表の山縣

「見直し」をするならお彼岸がチャンス!

お彼岸ってな～に？

春分の日を中心にした7日間。お彼岸とは向うの岸、仏様が住む「さとり」世界のこと。反対に自分たちがいるこちらの岸を、此岸(しがん)といい、ご存知の通り「欲や煩惱」にまみれた世界。仏教では此岸から彼岸に行くための**6つの実践**が用意されており、「その実践を見直しませんか？」というのがお彼岸の過ごし方になります。



お彼岸を迎えるにあたって、一つ一つのお供えもの用の仏具をいつもより丁寧に掃除されるといいですよ。お仏壇の汚れを見直すことが、自分の見直しの一番の実践です。お仏壇のお掃除などのお困りごとは、お気軽にご相談ください!

お線香は精進のたとえ

火をつけると、お線香は最後まで燃えて、燃え尽きたら灰として無くなってしまいます。終われば、自分のやってきたことをサラサラと忘れてしまうということも大切なんです。そこから、周りに心地よさを与えながら、一生懸命に頑張るという姿を学べます。



イキイキポイント!
お線香をゆっくりと見てみませんか?

お供えもので見直し!

6つの実践は「六波羅蜜」といい、中身は「布施、持戒、精進、忍辱、禅定、智慧」といい、これらはお仏壇のお供え物から学びとることが出来るようになっていきます。お彼岸はいつもより丁寧にお供えして、行動を見直してみませんか?

簡単

ナムナム見直しシート

お供えもの	六波羅蜜とのつながり
お水	水は平らを保とうとします。ここから平等に与える 布施 を学べます。 人を喜ばせていますか?
塗香(すこう)*	身を清めるお香から清く正しく過ごすという、 戒律 の大切さを学べます。 約束を守っていますか?
お花	暑さ寒さに耐えて咲き、見る人の心を和らげる、 忍辱 を学べます。 笑ってこらえていますか?
お線香	一度火がつくと身を燃やして最後まで燃え続ける、 精進 を学べます。 コツコツやっていますか?
ご飯	食事をすると心が落ち着き精神が安定することから、 禅定 を学べます。 イライラしていませんか?
ろうそく	全てを明るくして迷いを除き、悟りへ導く 智慧 を学べます。 よ～く考えていますか?

*塗香とは、粉末状になった手や体に塗るお香です。

◆お仏壇の修理・掃除・洗浄・塗替え・買換え・移動・保管・処分 ◆お仏具・お数珠・寺院関連・おみこし・掛軸などの修復



お仏壇のことでお困りの方
お気軽にご紹介ください!
◆広島県全域対応◆出張お見積り無料



広島市中区舟入南3丁目13-1 FAX 082-942-0526

仏壇 音羽屋 検索

〈お問合せ〉受付/午前8:00～午後7:00 TEL 082-231-3721

今回の「南無レター」はいかがでしたか? 皆様のご意見・ご感想をどしどしお寄せください。ご連絡用LINEからメッセージを頂けると嬉しいです! [こちらからどうぞ](#)



お寺ふしぎ発見!

ちおんいん 知恩院(京都)

年始に浄土宗の総本山「知恩院」の「新年おまいりツアー」(60名限定)に参加してきました。甲子園6個分もある敷地の中を知恩院の僧侶の方が直接ご案内くださり、非公開の内部まで入らせてもらいました。今回は、貴重なツアーで自分のことを見直したお話をご紹介します!



日本三大梵鐘のヒミツ

NHKのゆく年くる年でも有名な知恩院の巨大な梵鐘。大きすぎるので、総勢17人でゴーン!と撞く姿が有名です。この選抜は立候補制で、試し撞きのテスト後に合格者が発表されるとか。

こんな大きいものをどうやって吊り下げたんですか?



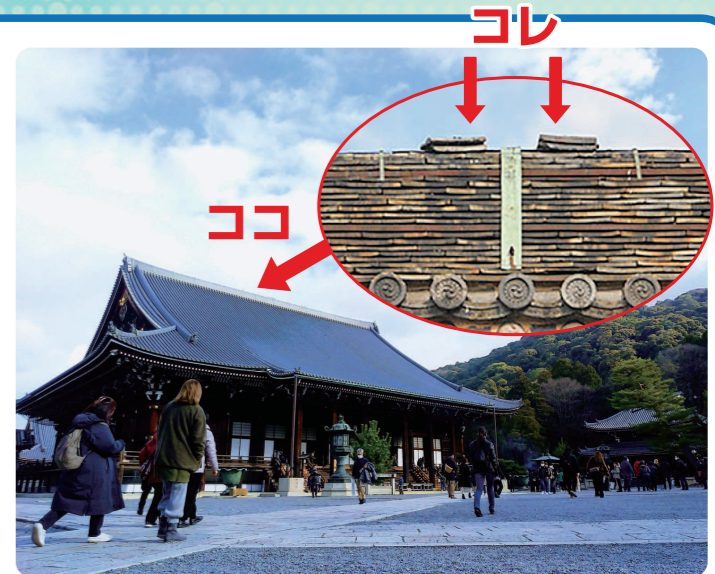
どうやって吊ったのか不明なんです。ちなみに重さは70トンありますので、いつ落ちるかもわかりません。

えええ!では、これをどうやって作ったんですか?



製造方法は残されていないんです。その理由は立派な鐘を作ると周りから褒められます。人は褒められると調子になり、功績を独り占めしたい心が出てきます。それを見て、ねたみから相手をおとしめる争いに発展することも…。それが原因で争うのを防ぐためなんです。

山縣が仕事の師匠に言われた「職人はエラそうにしないこと!」を思い出しました。



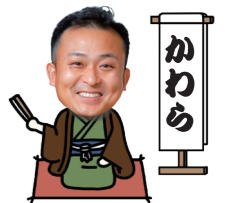
どうするあの瓦!?

大河ドラマ「どうする家康」の主人公家康のお母様のお葬式を執り行った事から徳川家とも縁の深い知恩院。その中心となるのが「国宝 御影堂」。実はその大きな屋根の上には4枚の瓦がポツンと置きっぱなしになっています。これには理由があって、満月になった月がやがて欠けていくように、**完成すればあとは壊れていくだけ**。素晴らしいお堂が未完成であることを示すためにあえて瓦を残しているそうです。

人も同じで自分を不完全な人間だと分かっているからこそ、より頑張ろうとしたり、他人を助けようとする気持ちが生まれるのだと思います。昔の人って人間の本质をよく知ってそれを建物にも活かしていたんですね。

ちなみに...

「瓦」を見上げていると、人を変えようとする前に自分が「かわら」ないといけないなと思った京都の旅でした。な～む～



新春お年玉プレゼント

クイズの答え: 両替

当選者発表

18等賞 モバイルバッテリー
広島市西区在住
和田 恵美子さん
おめでとうございます!

たくさんのご応募、ご意見・ご感想をお寄せいただき、ありがとうございました! 抽選会の様子

今回のテーマに沿ったお寺の掲示板
やり直しの
さかぬ
人生であるが
見直すとは
できる
南御堂真宗大谷派
難波別院(大阪府)
舎子大塚